

ユニセフカップ2012 西宮国際ハーフマラソン

2012年11月11日(日)「アフリカの子供たちの命と健康を守ろう！」

実施レポート

「ユニセフカップ西宮国際マラソン」(主催／サンケイスポーツ、西宮市体育協会、産経新聞社)が初めて開催されたのが1986年。飢餓に苦しむアフリカ諸国の子供たちを支援しようと、ユニセフ(国連児童基金)が同5月に世界に呼びかけた「スポーツエイド」がそもそもの始まりです。以来、西宮の地で「チャリティーラン」の精神をつむぎながら、阪神間にロードレースシーズンの幕開けを告げる大会として愛されてきました。

大会は阪神甲子園球場前をスタートとする武庫川特設コースで開催され、今年の参加者は全7種目で8801人と、昨年を上回る参加者を記録。

今年もまた、日本ハムグループは特別協賛で参加し、「チャリティーフードショップ」を開催。ウイニーを使用したホットドッグや、石窯工房シリーズのピザ、バニラヨーグルト(日本ルナ)などを提供し、売上の一部を(財)日本ユニセフ協会に寄付しました。

恒例となった「ハムリンズ食育クイズ館」には多くの子供たちも参加し、「食べることを楽しく学ぼう」をテーマに食育クイズをお楽しみいただきました。

日本ハムグループは、皆さまのより楽しく健やかなくらしに貢献して参ります。そして、「食べる喜び」をお届けするとともにスポーツ振興にも力を注ぎ、皆さまのこころと体の健康づくりをお手伝いしていきます。



あいにくの雨の中でも、多くの方で会場は大賑わい、フードショップも大盛況！



小学生駅伝も開催され、熱いレースが展開されました



入賞者には、国産自社農場でつくられた「美ノ国」の骨付きハムや、詰め合わせセットが贈呈されました



ちびっ子に大人気のハムリンズは今年も会場で大活躍



食育クイズ館、全問正解目指してチャレンジ！